



設立30周年記念

公益財団法人

渡邊財団

SINCE 1994



30th

ANNIVERSARY

THE WATANABE FOUNDATION

Rev.240701

第30回
磁気研究助成



第5回
渡邊利三国際奨学金

📖 設立30周年記念式典 開催レポート

2024年6月30日、京王プラザホテル（東京）において、公益財団法人渡邊財団 設立30周年記念式典の節目の元に**第30回磁気研究助成/第5回渡邊利三国際奨学金**

両助成事業の「合同助成金授与式」が開催されました。

磁気研究助成採択者、奨学金採択者の方々を中心に、

当財団の役員方・賛助会員のみなさま方を含め

通年度を上回る多くの方々が一同にお集まりになりました。

設立30周年記念に相応しい格式高い合同助成授与式とともに

親睦を深める豪華な懇親会の場を通じ、盛大な賑わいを醸し出しました。

設立30周年記念式典
特別参加記念品



30周年記念ロゴ入り
扇子/トートバッグ/ミラーウォッチ



30th 設立30周年記念式典および合同助成金授与式
第30回磁気研究助成 / 第5回渡邊利三国際奨学金 渡邊財団



公益財団法人渡邊財団は、「磁気健康科学」に関する研究助成を行うことにより、豊かな国民生活の実現と経済社会の発展に寄与する目的で1994年に設立されました。毎年、数々の研究分野に助成を行い、これまでの助成金総額は4億円を超えております。25周年の節目となる2019年には渡邊氏個人の寄附（基金の増額）により「渡邊利三国際奨学金制度」を設立し、海外留学先で最先端の研究を目指している若い研究者を支援して参りました。

そして今回の2024年、設立30周年を記念し、当財団は今後も現在の二種の助成（支援）事業（磁気研究助成・海外留学助成）を更に強化していきます。当財団の目的は国際的視野の下、学術研究並びに海外留学の助成を行い、人々の生活の質の向上と平和で安全かつ豊かな社会の発展に寄与することです。その目的達成の過程で当財団の助成金授与者からノーベル賞あるいはそれに匹敵する名誉ある賞の受賞者が出ることを願っています。

改めて今回の設立30周年記念を迎えるにあたり、役員関係者および賛助会員のみなさま方へ心より感謝御礼を申し上げます。当財団は今後も更なる積極的な支援活動を行いより一層の努力をして参りますので、今後も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(公財) 渡邊財団
多氣 昌生 選考委員長
選考結果発表



(公財) 渡邊財団
小谷 誠 理事長
ご挨拶



(公財) 渡邊財団
相澤 好治 副理事長
ご挨拶

■ 第一部：合同助成金授与式

《助成金/奨学金 総額：2,350万円》

『磁気健康科学研究助成』とは、磁気を用いた健康の維持、および増進を図る科学に関する研究に助成を行うことにより、その発展を推進し、もっと豊かな国民生活の実現と、我が国の経済社会の発展に寄与することを目的として、1994年（平成6年）5月に設立されました。当財団は社会のニーズに応えながら、研究テーマを募集し採択および助成金の授与を30年継続して参りました。

また、当財団元理事である、故：岡井治（おかいおさむ）氏からの寄付金をもとにした「岡井治特別研究助成」も、併せて採択授与を継続して参り、今回の第5回がその最終助成となりました。

◇ 第30回 磁気健康科学研究助成 対象者 ※敬称略 (総額：1,115万円)

種別	ご氏名	ご所属
基礎	横尾 英知	国立医薬品 食品衛生研究所 有機化学部
基礎	小林 功	金沢大学 理工研究域 生命理工学系
基礎	井上 聡	慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 がん免疫研究部門
基礎	山田 絵美	九州大学 人文科学研究院 言語学講座
基礎	古澤 和也	福井工業大学 環境学部 環境食品応用化学科
基礎	藪上 信	東北大学大学院 医工学研究科
応用	此松 和俊	東北大学大学院 医学系研究科 神経内科学分野 てんかん学分野
応用	佐藤 和秀	名古屋大学大学院 医学研究科/病態内科学講座 呼吸器内科
指定	橋本 淳	東京医科歯科大学大学院 先端技術医療応用学講座 ジョイントリサーチ講座
指定	小林 和弘	東京大学 先端科学技術研究センター
指定	臼田 升	公益財団法人 東京都医学総合研究所

◇ 第5回 岡井治特別研究助成 対象者 ※敬称略 (総額：100万円)

種別	ご氏名	ご所属
応用	上村 真生	東京理科大学 先進工学部 機能デザイン工学科

■ 第一部：合同助成金授与式

◆ 第 30 回 磁気健康科学研究助成 対象者のみなさま



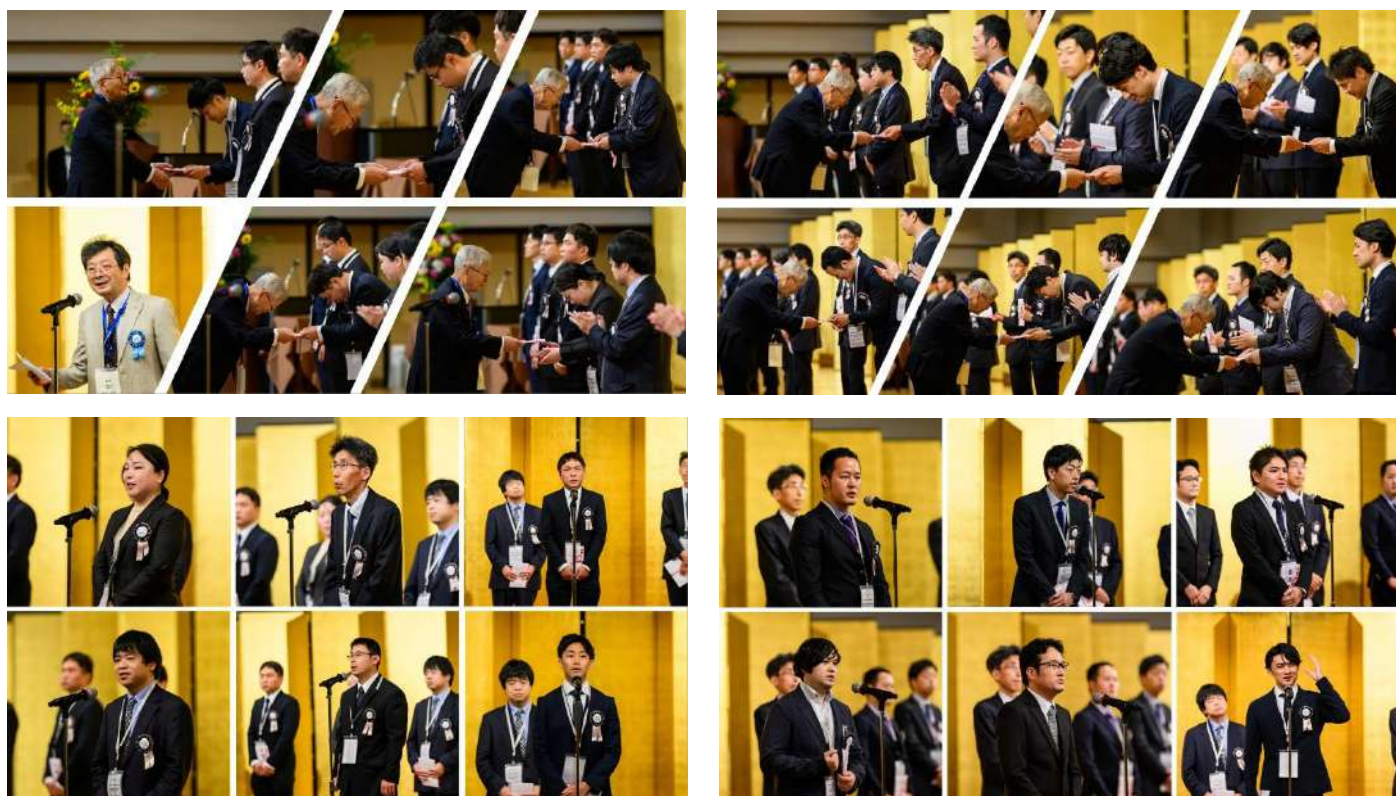
◇ 第 30 回 磁気健康科学研究助成 に対し計 11 名が採択されました。(計 1,115 万円)

◇ 第 5 回 岡井治特別研究助成 に対し計 1 名が採択されました。(計 100 万円)

◇ 採択者合計：12 名 (総額：1,215 万円)

Congratulations!

公益財団法人
渡邊財団
SINCE 1994



■ 第一部：合同助成金授与式

『渡邊利三国際奨学金』は、海外の大学・研究機関（ランキングの高い大学・一流の研究機関など）で学びたいという高い志を持ち、最先端若しくは将来貢献度の高い科学・技術・医療分野の研究を目指している大学院生・研究者等（研究機関在籍者）の生活費の支援を目的とする、給付型の奨学金制度です。

Toshizo Watanabe International Scholarship Program

◆ 第5回 渡邊利三国際奨学金 対象者 ※敬称略 (総額：1,485万円)

ご氏名	ご所属		ご留学国/先
山口 亜斗夢	神戸大学大学院 保健学研究科		アメリカ ハーバード大学
秋谷 梓	順天堂大学医学部 附属順天堂医院 小児科学講座		カナダ トロント小児病院
鈴木 結香子	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科		アメリカ ハーバード メディカルスクール
内原 正樹	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 一病院 糖尿病内分泌代謝科		ドイツ ヴュルツブルグ大学病院
杉原 隆太	大阪大学大学院 医学系研究科		イギリス キングス・カレッジ ・ロンドン
橋本 明弓	慶應義塾大学 経済学部		アメリカ カリフォルニア大学 ロサンゼルス校
尾谷 知亮	日本赤十字社 和歌山医療センター 放射線診断科		アメリカ スタンフォード大学
芳賀 純香	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科		ドイツ ハンブルグ工科大学
上田 篤	東京大学 理学系研究科 物理学専攻		ベルギー アントワープ大学
佐藤 理子	北海道大学大学院 医学院 呼吸器内科学教室		アメリカ マウントサイナイ医科大学 アイコン校

◆第5回 渡邊利三国際奨学金 対象者 のみなさま



□第5回 渡邊利三国際奨学金 に対し計 10 名が採択されました。(計 1,485 万円)

□採択者合計 : 10 名 (総額 : 1,485 万円)

公益財団法人
渡邊財団
SINCE 1994



■ 第一部：合同助成金授与式

<設立 30 周年記念 特別企画>

◇ 東北大学医学博士 三島英換先生によるネイチャー誌掲載研究発表

みしまえいかん

三島英換先生 医学博士 東北大学大学院 医学系研究科 腎膠原病内分泌分野

当渡邊利三国際奨学金の第 1 回及び第 2 回の採択者でもある三島英換教授は留学研究で「ビタミン K が細胞死を強力抑制し、50 年来の謎であった還元酵素を発見した」ことによって、2022 年に総合科学学術雑誌『ネイチャー誌』（論文の掲載採択率 8%以下といわれる）に極めて希少性の高い研究成果として掲載されるに至り、日本国内では NHK や日本経済新聞など数多くのメディアに取り上げられました。現在ドイツのヘルムホルツセンターミュンヘンの研究所に所属され、留学研究に従事されています。

◆ 研究成果テーマ：『フェロトーシスとビタミン K』

【概要】フェロトーシス (ferroptosis) は脂質酸化依存性細胞死とも呼ばれる細胞死の一つで、近年、アルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患やがん細胞に対する抗がん薬の感受性などに関与することが知られています。世界的に注目を浴びている生命事象であるとともに、これらの病気の治療薬の標的となることが期待されています。ビタミン K にはフェロトーシスを強力に防ぐ作用があることを新たに発見しました。さらに、これまで 50 年以上その正体が不明であったビタミン K を還元する酵素を同定しました。これまで、抗凝固薬として広く使用されているワルファリン中毒時にビタミン K の投与がなぜ解毒剤となるのかは謎でしたが、本研究によりそのメカニズムが明らかとなりました。さらに本研究成果は、フェロトーシスに関わる様々な病気の治療薬の開発や応用へと発展することが期待されます。【2022 年 8 月 3 日 国際学術誌「Nature」オンライン掲載】



※当日はその成果をビデオ動画にて発表していただきました。

総合科学学術雑誌『ネイチャー(Nature)誌』

イギリスのロンドンを拠点に設立された国際的な科学ジャーナルであるとともに、科学技術のあらゆる分野における最高品質の論文を掲載し世界最高峰の学術誌として、世界中の読者に最先端の科学を伝え続ける。



《30周年特別磁気助成》
■ 第二部：研究発表および特別講演

<設立 30 周年記念 特別企画>

◇ 『30 周年記念特別助成』 研究発表

『30 周年記念特別助成』とは、渡邊財団設立 30 周年に向けて 2018 年に新設し研究期間は 3 年間、助成金額は年度毎に 500 万円となる特別な磁気研究助成です。設立 30 周年記念式典の当日、既授与者 4 名にその研究発表を行っていただきました。

◆ 『30 周年記念特別助成』 対象者 ※敬称略 (助成金額：1 件/ 500 万円)

ご氏名	ご所属	受賞年
小谷 潔	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	2018 年
井藤 彰	名古屋大学大学院 工学研究科 化学システム工学専攻	2020 年
加賀谷 斉	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部	2020 年
中島 振一郎	慶應義塾大学病院 精神・神経科	2021 年



《30周年特別磁気助成》
■ 第二部：研究発表および特別講演



<設立 30 周年記念 特別企画>

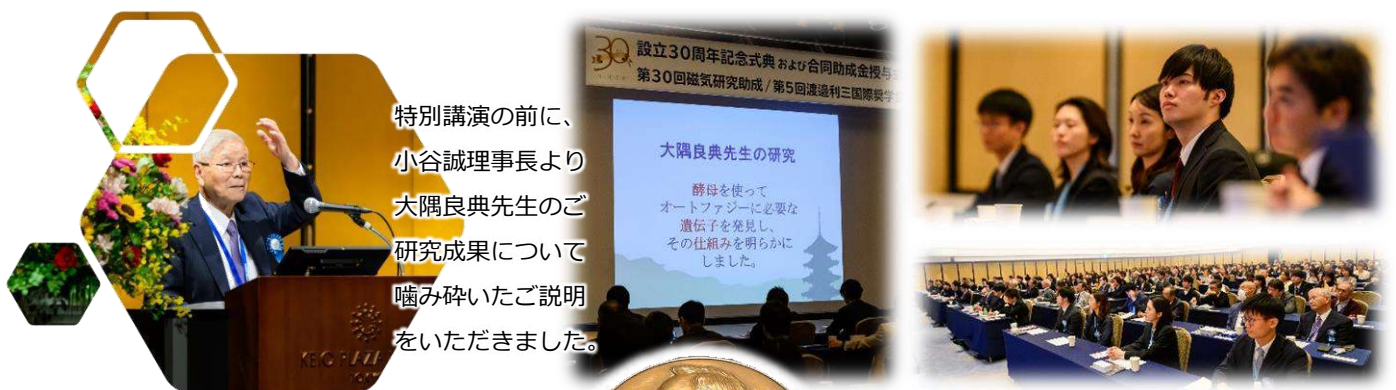
ノーベル生理学・医学賞 大隅良典先生 による特別講演会

このたびは渡邊財団設立 30 周年の節目に相応しく 2016 年に『ノーベル生理学・医学賞』を受賞なされました、大隅 良典 栄誉教授・特任教授 をお招きしました。当日は、ノーベル生理学・医学賞受賞研究成果であります細胞のリサイクル機能「オートファジー」について詳しく且つ解り易く特別なるご講演をいただきました。

おすすめよしのり

大隅良典先生 栄誉教授・特任教授 分子細胞生物学者
国立大学法人 東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター

大隅良典栄誉教授が「オートファジーの仕組みの解明」により 2016 年ノーベル生理学・医学賞を受賞した。「自ら (Auto)」を「食べる (Phagy)」という意味を持つ「オートファジー (Autophagy)」は、細胞内にあるタンパク質を細胞内で再分解する仕組み。飢餓状態で活性化し、分解したタンパク質を生命維持に必要なアミノ酸生成に用いるなど、生命活動を支える重要な働きだ。この仕組みを解明し、がんやパーキンソン病などの医学的な研究にもつなげた功績が評価された。
〔東京工業大学：ノーベル生理学・医学賞 2016 受賞記念パンフレットより引用〕



特別講演の前に、小谷誠理事長より大隅良典先生のご研究成果について噛み砕いたご説明をいただきました。



©©The Nobel Foundation

ご講演テーマ

『半世紀に亘る研究を振り返って』



2016年『ノーベル生理学・医学賞』受賞 大隅 良典 栄誉教授・特任教授

<設立30周年記念 特別企画>

◇特別功勞役員表彰

第二部の最後に、当財団1994年の設立（旧：磁気健康科学研究振興財団）以来、発展/運用に長きに亘り大きくご尽力いただいております役員方々へ感謝の意を表した『特別功勞役員表彰』を行いました。表彰は渡邊利三名誉会長より執り行われ、特別功勞役員表彰状、花束、記念品（伝統工芸品：九谷焼金彩）が贈呈されました。

◆特別功勞役員表彰《10年以上》対象者 ※敬称略五十音順 (計：7名)

役職	氏名	所属
副理事長	相澤 好治	北里大学 名誉教授
理事	井出 英人	青山学院大学 名誉教授
評議員	岩坂 正和	広島大学 ナノデバイス研究所 教授
理事	上野 照剛	東京大学 名誉教授
専務理事	竹内 陽二	株式会社 NIKKEN 代表取締役
理事	龍岡 穂積	医療法人社団 知己会 理事長
監事	土肥 健純	東京大学/東京電機大学 名誉教授

◆特別功勞役員表彰《20年以上》対象者 ※敬称略五十音順 (計：6名)

役職	氏名	所属
監事	青木 明人	平塚市民病院 名誉病院長 ※長きに亘るご功勞に改めて感謝申し上げます。
評議員	内川 義則	東京電機大学 名誉教授
理事	大久保 千代次	一般財団法人 電気安全環境研究所 電磁界情報センター 所長
理事	北村 唯一	東京大学 名誉教授
理事長	小谷 誠	東京電機大学 名誉教授 第5代学長
理事	多氣 昌生	東京都立大学 名誉教授



祝 設立30周年記念
公益財団法人 渡邊財団
2024年6月吉日

■ 第三部：懇親会

◇ 懇親会

このたびの懇親会は設立 30 周年記念ともあり、通年以上に豪華に執り行われました。乾杯の挨拶を渡邊利三名誉会長がなされる前に、このたびの当財団への多額の基金増額を渡邊利三名誉会長がご自身（個人）で行われたこともあり、小谷誠理事長より感謝の花束が贈呈されました。



渡邊利三名誉会長による乾杯のご挨拶



小谷誠理事長より花束贈呈



相澤好治副理事長よりご挨拶

◆採択者のみなさま◆



弦楽四重奏
【アンサンブル・プリモ】



◆ 賛助会員のみなさま ◆



KEIO PLAZA HOTEL



◆ 賛助会員のみなさま ◆



◆ 賛助会員のみなさま ◆



多額寄付の賛助会員に花束贈呈

